

東日本大震災からの復旧・復興を目指し 「災害に強いまちづくり宮城モデル」を推進



岩手、宮城、福島県を中心とした太平洋沿岸部に甚大な被害をもたらした東日本大震災。

「災害に強いまちづくり宮城モデル」の推進を軸とした、産業や生活の基盤となる社会資本の復旧、産業の活性化や交流人口の拡大など『創造的復興』の実現に向け、土木部一人ひとりが取り組みました。

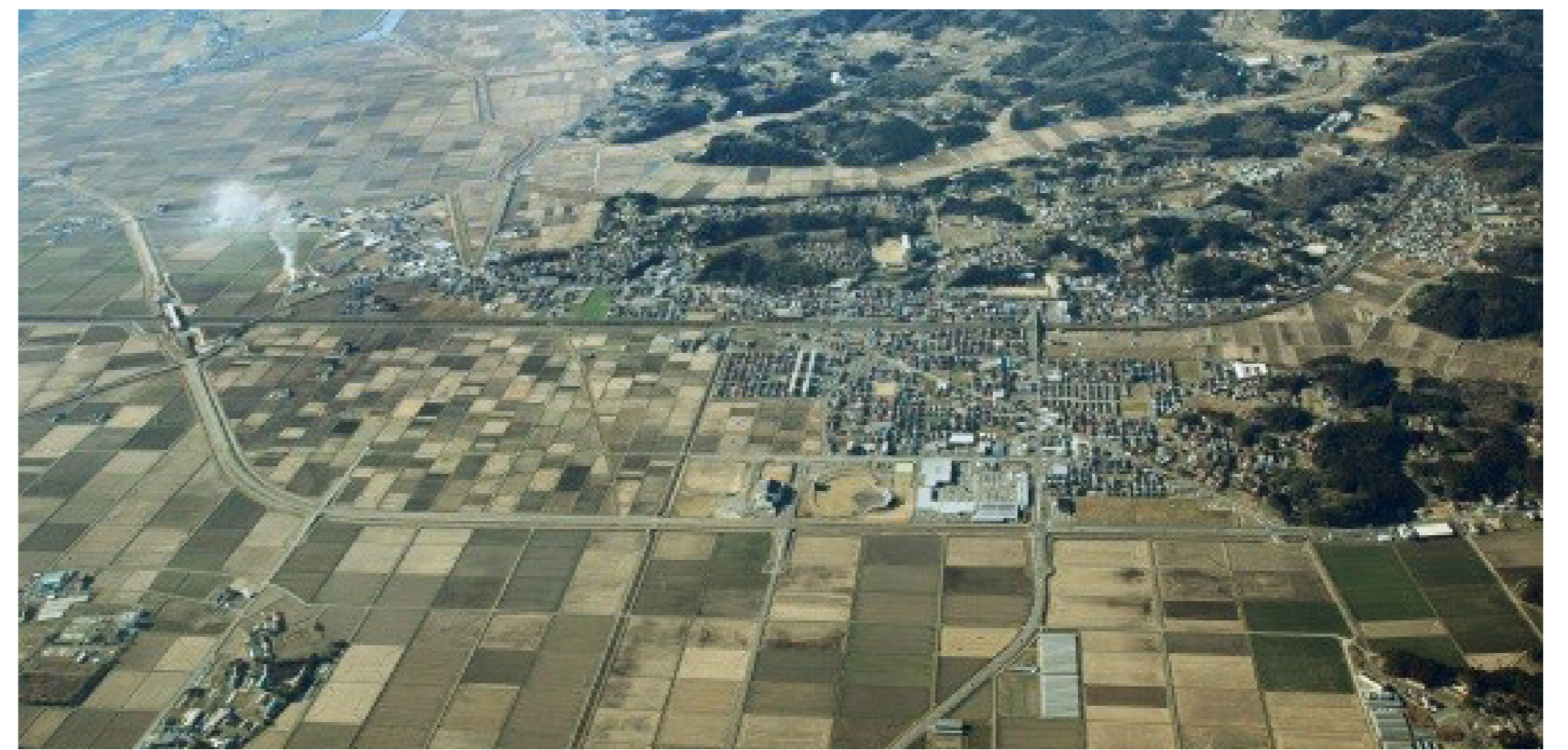
[平成③] 平成23年—31年
(2011) (2019)

昭和			平成			令和
①	②	③	①	②	③	

東北地方太平洋沖地震(東日本大震災) 平成23年(2011)
マグニチュード9.0(気象庁)の、日本の観測史上最大規模の地震が発生し、東北から関東にかけての東日本一帯に甚大な被害をもたらしました。



国道113号 舘矢間バイパス開通 平成24年(2012)
丸森町中心部の混雑解消などを目的に平成8年から事業に着手し、阿武隈川を渡る「丸森大橋」を含む全線が平成24年に開通し、観光、災害時の対応などに大きな役割を果たしています。



吉田川二線堤及び国道346号 鹿島台バイパス開通 平成25年(2013)
大崎市鹿島台地区における水害に対する安全性の向上、中心市街地の慢性的な渋滞の解消など、県北地域の交流や物流の強化とともに、産業や観光振興に貢献しています。



耕英東砂防激特事業完成 平成25年(2013)
岩手宮城内陸地震に伴う大規模な土石流、多量の堆積土砂が再び下流域に流出するのを防ぐため、砂防堰堤4基、床固工3基、帯工10基からなる砂防施設群を整備しました。



長沼ダム完成 平成26年(2014)
迫川の洪水防御や維持流量確保などを目的に、1971年に治水ダム事業として採択され、平成4年には湖面の有効利用を図るため、多目的ダムへと計画を変更し、平成26年に完成しました。



多賀城駅連続立体交差事業完成 平成25年(2013)
JR仙石線多賀城駅周辺の仙石線の踏切による交通渋滞や中心市街地の分断を解消し、多賀城駅周辺のスムーズな交通の流れを確保できるようになりました。

[平成③] 平成23年—31年

平成23年	3月	東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)
23年	11月	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅰ期)開通
24年	5月	国道113号 舘矢間バイパス開通
25年	3月	吉田川二線堤及び国道346号 鹿島台バイパス開通
25年	5月	弘川ダム完成
25年	11月	東北楽天ゴールデンイーグルス 日本一
25年	11月	耕英東砂防激特事業完成
25年	11月	多賀城駅連続立体交差事業完成
26年	5月	長沼ダム完成
27年	6月	川内沢川放水路竣工
27年	9月	平成27年9月関東・東北豪雨災害
27年	12月	仙台市地下鉄 東西線開業
30年	12月	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅱ期)開通
31年	4月	気仙沼大島大橋開通
31年	5月	平成から令和に改元



川内沢川放水路竣工 平成27年(2015)
平成6年の豪雨災害を教訓に、沿川の治水安全度向上を図るため、河道拡幅に加え上流に川内沢ダムを仙台東部道路より下流では放水路を整備する計画とし、約20年の歳月をかけて放水路が完成しました。



平成27年9月関東・東北豪雨災害(2015)
東北地方では初めとなる大雨特別警報が発表され、県北西部を中心に甚大な被害が発生しました。一方、長沼ダムが洪水調節機能を果たすなど、整備を進めてきた河川管理施設が効果を発揮しました。



気仙沼大島大橋開通 平成31年(2019)
気仙沼市の離島・大島と本土を結ぶ鋼中露式アーチ橋です。東日本大震災によって「命の道」となる大島架橋の必要性が再認識され、建設されました。愛称は鶴亀大橋です。